

宅建にいがた

題字は元新潟県知事 君 健男氏

2025.12.10 第401号 (偶数月10日発行)

由行 好胤 徑子

奈良薬師寺元管主 高田好胤師記念の書

消費者セミナー開催

11月9日(日)、リージョンプラザ上越コンサートホールに、県立海洋高校相撲部 総監督の田海 哲也氏を講師にお迎えし、「横綱大の里を育てたかにや旅館物語」と題して、消費者セミナーを開催しました。来場者は160名でした。

田海総監督は自身の寮で共同生活をして、横綱大の里をはじめ現在幕内・十両で活躍する白熊関、嘉陽関、欧勝海関を育てた名指導者です。

講演では大の里の素顔や共同生活による苦勞、部員による老人施設の訪問等社会貢献、現在はモンゴルからの留学を受け入れ、進学実績も伸ばしている等興味深い講演内容でした。

講演後、大の里直筆の色紙や大の里の四股名入りの浴衣地で作った巾着が当たる田海総監督とのじゃんけん大会が行われ、参加者は大いに盛り上がりました。

また、講演に先立ち高橋達平指導研修委員長より、本会の行っている不動産無料相談会や各種事業について説明をいたしました。



田海総監督の講演

「宅建にいがた」には重要な情報が掲載されています。ぜひお読みください。

新発田支部「常設の不動産相談所」開所式

10月21日(火)、全国で初めてとなる官民連携による新発田支部常設の不動産相談所の開所式が新発田市中央町の松緑館ビル(下越事業所が入居するビル)で行われ、国土交通省、新潟県、地元新発田市、各市町の担当者、関係団体、本会の役職員69名が参加し、式典並びに国土交通省青山佳樹室長による基調講演が行われました。

常設の不動産相談所は、本会のほか新発田市、司法書士会、土地家屋調査士会、社会福祉協議会等が連携し、空き家問題をはじめ不動産に関する相談に柔軟に対応することが期待されます。

<開所式に参加された主な方々>

- 国土交通省不動産課 不動産管理業適正化推進室長 青山佳樹 様
同 課長補佐 葛西直嗣 様
同 賃貸住宅管理業係長 持田惇太 様
同 北陸地方整備局 建政部 部長 大坂剛 様
建政部 不動産管理業適正化推進官 杉村祥一 様
新潟県新発田地域整備局 地域整備部 部長 江部俊浩 様
地域整備部建築課 課長代理 菅原公史 様
五泉市長 田邊正幸 様
新発田市副市長 伊藤純一 様
新発田市市議会議長 湯浅佐太郎 様
その他、市町村の副市長様、ご担当者様、各団体のご担当者様



国土交通省青山佳樹室長

女性部会・青年部会発会式

11月18日(火)、本会の女性部会・青年部会発会式並びに祝賀会を県内各地より女性会員・女性従業者、若手の会員・従業者、本会役員104名の出席により、ニューオータニ長岡で開催しました。

式には(公社)山梨県宅建協会の北村公一専務理事、長田光世事務局長、(公社)長野県宅建協会の小山浩太郎専務理事、稲池厚雄ながのNEXT部会長の出席を賜り、ご挨拶と両県における活動について説明があり、女性部会・青年部会委員の紹介が行われ、内山三千代女性部会長(有タイセイブラン)、高頭明紀夫青年部会長(高頭不動産株)より挨拶を行いました。

その後、曹洞宗 雲榮山永谷寺 住職 吉原 東玄様による、「仏教を通じて生き方の見直し、生きがいの発見」と題した記念講演会が行われました。

祝賀会では名刺交換やアトラクションが行われ、これからの協会を担う方々の活気に満ち溢れた素晴らしい会となりました。

女性による目線や若手の感性を持って業界のいっそうの発展、会員各位のビジネスに寄与できるような活動を期待します。



祝賀会参加者



講演する吉原東玄住職

第5回理事会・幹事会(11月27日開催)のご報告

令和7年11月27日(金)、理事会・幹事会を開催し、次のように決議しました。

【審議事項】

1. 入退会について(令和7年9月26日～11月20日)

本店3社と支店1社の入会が承認されました。

<入会者>

支部	免許番号	商号又は名称	免許申請者	事務所所在地	本・支店
新潟	(1)5824	トライスホーム佐渡株	渡邊 一哉	佐渡市八幡新町82-6	本店
新潟	大臣(3)7144	ApmanPropaty(株) エリアプランニング	金勝 利之	新潟市西区大学南1-7809-8	本店
新潟	(1)5825	R Jコンサルティング(同)	二宮 涼	新潟市中央区堀之内南3-7-21	本店
上越	大臣(2)6874	タマホーム(株) 上越店	玉木 康裕	上越市藤野新田1223	支店

2. 十日町市空き家バンク制度の運用に関する協定書の改訂(案)について

現在の運用方法との間に差異が生じたため提案された、協定書を改訂することが承認されました。

3. 令和8年度予算作成方針(案)について

入会金、会費、事業費収入をあわせて、概算を予算案の概算合計は165,528,600円とする収入予算と予算編成のスケジュールが承認されました。

4. 令和8年度各事業所の予算配分(案)について

令和8年度の各事業所への予算配分(総額13,000,000円)について承認されました。

5. 特定資産の定期預金化等について

金融機関の「ペイオフ」対策として決済用普通預金に置かれている特定資産の一部を、利息が得られる定期預金や国債等に振り分け、協会の事業の運転資金に回すことが承認されました。

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第二条第十五項に規定する指定薬物及び同法第七十六条の四に規定する医療等の用途を定める省令の一部改正について

—新潟県福祉保健部 感染症対策・薬務課—

標記の件について、厚生労働省医薬局長から通知がありましたので、お知らせします。新たに指定された薬物等の詳細については、厚生労働省ホームページをご確認ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000212707_00033.html



新潟県薬物の濫用の防止に関する条例第16条第1項に規定する知事指定薬物の新規指定について

—新潟県福祉保健部 感染症対策・薬務課—

令和7年10月29日、新潟県薬物の濫用の防止に関する条例（平成26年新潟県条例第88号）第16条第1項に規定する知事指定薬物として、新たに3物質を指定し、告示しました。

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/kanyaku/siteiyakubutu0778814.html>



三条支部不動産フェア開催

三条支部では、9月23日（火）、三条地区：まちやまサイエンスホール、見附地区：ネーブル見附、加茂・田上地区：加茂商工会議所の3会場にて不動産フェアを開催しました。

三条地区では、三条市と共催し、「空き家の祭典」とし、セミナーや空き家・中古不動産見学ツアー、ワンストップ相談会を開催しました。見附地区、加茂・田上地区では不動産無料相談会と物件展示を行いました。

三条地区の相談件数は11件、見附地区は10件、加茂・田上地区は4件でした。



三条地区の相談

三条支部ハトマークセミナーを開催

9月30日（火）、見附のイングリッシュガーデンホテル「レアント」にてハトマークセミナーを開催し、司法書士 長谷川 大様より「最近の登記の問題点について」をテーマにご講演をいただきました。

研修会は31名が参加し、懇親会では日頃なかなか顔を合わせる機会の少ない会員同士が親睦を深め、今後の活動に向けて有意義な意見交換が行われました。



長谷川大先生



会員皆様

十日町支部不動産フェア開催

10月5日(日)、十日町産業文化発信館「いこて」にて、不動産フェアを開催しました。

当日は、物件の展示コーナーに多くの地元の皆様にご来場いただき、地域の不動産に対する関心の高さを改めて実感いたしました。また、相談ブースでは、ご自宅の売却や土地の有効活用に関するご相談をいただき、来場者の皆様の具体的なニーズに触れる貴重な機会となりました。



来場者

上越・十日町・柏崎支部合同ハトマークセミナーのご報告

10月9日(木)、上越・十日町・柏崎の3支部合同研修会が、柏崎市文化会館アルフォーレにて開催され、43名にご参加いただきました。研修は2部構成で行われ、第1部では司法書士の瀬下 真人先生が「身寄りのない高齢者の方への支援」について実務的なご講演を、続く第2部では、行政書士の間島 博英先生が、「SNSを活用した営業戦略」と題してご講演いただき、大変好評を博しました。研修後には懇親会が開かれ、参加者は交流を深めました。



会員各位

上越支部青年部会 スポーツ公園エンジョイマラソン2025参加

10月5日に開催された、スポーツ公園エンジョイマラソン2025に、Aチーム7人、Bチーム6人、計13人で参加してきました。

このエンジョイマラソンは、チームでタスキをつなぐ、リレー式のランニングイベントです。一般の部の参加チームは63チームでした。その中でAチーム12位、Bチーム10位という好成績を残すことが出来ました。

日頃、仕事でつながりの有る仲間達が、3時間という時間の中で次々とタスキをリレーし最後までつなぎました。

それぞれに力走り完走した達成感を共に味わえたことは、とても良い経験になりました。今後の仕事にも役立つことと思います。

来年は今年以上にメンバーを集め、一緒に達成感と爽快感を味わえるといいなと思っています。



青年部会参加者



発行所 公益社団法人 新潟県宅地建物取引業協会
公益社団法人 全国宅地建物取引業保証協会新潟本部
〒950-0084 新潟市中央区明石1-3-10 新潟県宅建会館
電 話 025-247-1177
ホームページアドレス <https://niigata-takken.or.jp>
Eメール takken@niigata-takken.or.jp
発行人 水本 孝夫 編集人 中島 茂